

2021（令和3）年度の主な取組状況

◆ロゴマークの作成

当圏域のさらなる絆を深めるため、圏域をPRするロゴマークを作成しました。

ロゴマークは、圏域を構成する市町村の位置や形をイラストで示し、生活圏を共有する圏域の一体感をイメージしています。

様々な場面でロゴマークを活用することで、圏域の一体感を養い、エリアプライド（圏域の誇り・自尊心）の醸成をめざします。



◆「カンジョウナワ行事のヒミツ」講座の開催（教育部会）

伊賀市をメイン会場（ハイトピア伊賀）に、南山城村にサブ会場（やまなみホール）を設置し、オンライン配信で講座を実施し、圏域全体から参加がありました。

◆病児保育室（医療・福祉部会）

利用対象者を圏域住民に拡大した病児保育室について、連携町村からも利用がありました。今後も圏域全体で仕事と子育ての両立を支援し、安心して子育てできる環境の充実に繋がります。

◆職員研修会の実施（各部会）

各種研修会について、オンラインを活用することで参加機会の確保を図りました。

- ・DX研修（研修動画および資料の共有）
- ・障がい福祉職員研修（オンライン形式）

◆情報提供（交通・情報部会、各部会）

それぞれの広報紙やホームページ等で連携市町村のイベント情報や主な連携事業を掲載しました。

圏域ニュース：各広報紙（一部チラシ配布） 毎月掲載

ダイヤル24：広域広報（笠置町・南山城村） 毎月掲載

◆圏域の取り組み紹介動画の放送

4市町村の定住自立圏担当者による圏域の取り組み紹介動画（「特集 伊賀城和定住自立圏の取り組み」）を制作し、ケーブルテレビ、伊賀市公式 YouTube において、放映しました。